

(3) 把握した「よさ」を生かす指導




基礎的・基本的な内容の定着を図る場で、事前に把握した生徒の持つ「よさ」を生かす学習活動を取り入れた。下に示した4時限目の学習は、言語材料の定着を図ることをねらったものであるが、指導過程からもわかるように、「聞く・話す」、「読む」、「書く」から生徒の得意な方法を選択して学習できるようにした。

時	目 標	主な学習内容・活動	Team Teaching		学習形態	基礎・基本	Jectability				個 性	評 価 等
			T ₁	T ₂			J	E	C	T		
4	〔言語材料の定着〕 不定詞の副詞用法(目的)と名詞用法の表現に慣れ、その運用を高める。	1. 不定詞の副詞用法と名詞用法について確認する。	不定詞の副詞用法と名詞用法についての確認を行う。		一斉	不定詞の副詞用法、名詞用法を使っている表現ができる。					表現特性を生かす活動 生徒一人一人の表現特性に応じた指名	教師の観察 (座席表へのチェック)
		2. 表現練習を行う。 (1)不定詞の副詞用法を使っている表現練習 (2)不定詞の名詞用法を使っている表現練習 (3)指名された生徒が発表する。	表現練習の仕方について説明する。 机間巡視しながら援助指導を行う。		グループ			○				
		3. 「聞く」・「話す」、「読む」、「書く」の3つのグループごとに表現活動を行う。	それぞれのグループの活動について説明する。		グループ	自分の得意な分野で不定詞を用いた表現活動ができる。		○	○	○	個性の特性を生かす学習方法 「聞く」・「話す」、「読む」、「書く」の生徒一人一人の得意な面を生かしての学習方法	教師の評価 (チェックリスト) ☆プリントによるチェック
		(1)「聞く」・「話す」グループ ・ Explain the content of a picture. (2)「読む」グループ ・ Glasp the outline of the story. (3)「書く」グループ ・ Picture Description	聞く・話すグループの援助指導を行う。	読む、書くグループの援助指導を行う。	グループ							
		4. 本時のまとめをする。 3の表現活動の確認	各グループの活動内容の発表を聞いてコメントを与える。(T ₁ ・T ₂)		一斉							

《ミニミニ言語活動》

() 番氏名 (A・K)

I 絵を見て、(例) にならって、「～するためにそこへ行きました」という文を言ってみましょう。








(例) I went there to play basketball.

1. I went there to play baseball.

2. She went there to take a picture.

II 絵を見て、(例) にならって、答えの文を言いましょう。

(例) Do you want to see my picture?
⇒ Yes, I do. I want to see your picture very much.

1. Do you want to dance with me?
Yes, I do. I want to dance with me.

2. Do you want to see her?
Yes, I do. I want to see her.

※ I, II も、となりの人とペアになって交代でやりましょう。

① 言語活動につなげる表現活動

まとめの言語活動で自分の「よさ」を発揮させるためには、Lessonで学習した言語材料をよく理解させるとともに、それを生かした表現活動を積み上げていくことが必要である。

そこで、授業の終わりの段階に「ミニミニ言語活動」を取り入れ、ペアによる表現活動を行わせた。

この活動の積み重ねにより、4技能のバランスのとれた育成を目指すことができるものと考えた。